か・かんがえる子
す・すなおな子
が・がんばる子

佐世保市立春日小学校
佐世保市瀬戸越３丁目１９番１号
校　長　日髙　智明
児童数　４５７名（２１学級）

事業テーマ

〇確かな学力と豊かな心をもち，たくましく生きぬく児童の育成

目的

〇「確かな学力と豊かな心をもち、たくましく生きぬく児童の育成」
～『子どもが考えて動く活動づくり』特別支援教育の視点を生かして～

（１）「教える」から「育てる」授業への転換
子どもたちが自ら考え、行動する力を育む授業実践を推進する。

（２）人権意識を高め落ち着き、安心して学べる環境づくり
全ての子どもが安全かつ快適に学習できる環境を整備する。

（３）主体的で協働的な学び「子どもが主役の学び」の推進
子どもたちが主体的に学び合い、共に成長できる機会を提供する。

実践内容

（１）「教える」から「育てる」授業への転換

子どもたちが自ら考え、行動する力を育む授業実践、体験活動

①地域人材等の活用と体験活動の充実

【各学年における体験活動】

・１年…５月：学活「交通安全」（長崎県警）、６月：「生命尊重」栽培活動
10 月：生活科「秋さがし」、保幼小連携交流活動、11 月：「生命尊重」植物収穫
12 月：「生命尊重」栽培活動

・２年…５月：「生命尊重」栽培活動、７月：「町探検」（地域公共施設）
９月：生活科「生命尊重」栽培活動
11 月：「町探検」（地域商店等）、12 月：「生命尊重」栽培活動

・３年…10 月：社会科工場見学、11 月：社会科スーパーマーケット見学

・４年…６月：被爆体験講話、長崎市平和学習（見学）
９月：アルカスアウトリーチコンサート、社会科浄水場見学
10 月：ふるさと環境学習、11 月：音楽発表会

・５年…６月：福祉体験学習、９月：宿泊体験学習（自然体験）、11 月：福祉体験学習
　　11 月：「生命尊重」いのちかがやく講演会、１月：保幼小連携交流活動
・６年…10 月：修学旅行、11 月：保健「薬物乱用防止」（ライオンズクラブ）
　　11 月メディア講習会、「生命尊重」いのちかがやく講演会
・特別支援学級…６月・10 月：栽培体験（中学校との交流）
　　12 月：ふれあい作品展に向けての制作活動
　　１月：作品鑑賞
　　通年：あさひ農園での野菜等の栽培体験、支援学級同士の交流活動
・登校支援室…通年：支援学級とともに体験活動
・全校…５月：避難訓練における煙体験、救助袋による避難（消防署）
　　６月：いっちゃんスクールコンサート
　　11 月：たてわりふれあいまつり、通年：たてわり班による交流活動

②地域ボランティアによる学習支援・学校支援の充実

・学習支援ボランティアによる個別学習のサポート
・学校支援：季節の掲示物作成、生け花による環境整備、読み聞かせ、
　　ふれあいボランティア、交通安全ボランティア、
　　地域人材の紹介等の地域コーディネート

（２）人権意識を高め落ち着き、安心して学べる環境づくり

〇特別支援教育の視点を生かした個別支援体制
・なのはな教室（登校支援）個のペースに合わせた学びの場の充実
・個別学習室…刺激を少なくし少人数で落ち着いて学べる環境づくり
　　（教材教具の補充）
・文字指導、数感覚育成のための教材準備
〇多様な児童への対応等についての職員研修の充実（職員対象　年１回程度）
・校内研修等において職員研修のための講師を招聘し、児童理解や特別支援教育、
　個に応じた指導の在り方などについて学ぶ機会を設ける。
・基礎的学力の確実な定着（全校共通の取組）
〇読書活動の推進
・「朝の読書タイム」（８：２５～８：３５　月曜日の週１回　通年）
　各自が好きな本を静かに読む。
・図書室の活用（通年）
・できるだけ学校司書の勤務日に図書室利用時間割を組む。
・常に本を手元に置き、隙間時間にいつでも読めるようにする。

・読書推進期間やカード等を活用し、読書冊数増を目指す。

〇学力の定着を図る朝の学習活動

・「スキルタイム」（８：２５～８：３５　火・木曜日　通年）

・スキル教材を使用し算数の計算と国語の言語・表現能力の向上を目指す。

・国語の教科書や音読教材を使い、国語の言語・表現能力の向上のため音読の指導を行う。

・「ワーク・コグトレ」（８：２５～８：３５　金曜日の隔週　通年）

・発達段階にあったワークショップを行い、学級内のつながりや人権感覚を養ったり、認知機能強化のためのトレーニングを行ったりする。

（３）主体的で協働的な学び「子どもが主役の学び」の推進

①「『できた』『わかった』『楽しい』をみんなが実感し、よく学ぶ春日っ子の育成」を目指した授業つくり

・通年：校内研修を通した授業研究

・通年：自主学習の推進

児童が授業と関連させながら主体的に家庭学習に取り組むための手立てを校内研修等で検討し、学びの手立てとなる教材等を活用する。

②異年齢集団活動を重視した特別活動の充実

【児童会縦割り班活動】

・通年：縦割りあそび

・11 月：ふれあいまつり… 縦割り班で協力し、ゲームや出し物を楽しむ活動を通して、協力することの大切さや達成感を味わう。

・12 月：縦割り栽培活動…卒業式に向け、プランターの花を育てる活動を通して、命の尊さや責任感を育む。